

三川町 防災ガイドブック

風水害対策



地震対策



～災害に備え できることから～

- ☆書き込んで「わが家の手引き」として活用しましょう
- ☆いざという時のための保存版です。見える場所に保管しておきましょう

はじめに

全国では、毎年のように台風や豪雨により尊い命が失われています。

これまでの全国各地での災害では、「自助（自分でできることは自分で）」「共助（個人でできないことは地域で協力し合って）」「公助（地域でできないことは行政が）」のうち、「自助」の意識が低いところほど被害が大きくなってしまいう傾向にあることが報告されています。

このガイドブックでは、災害対応の基本である「自助」についての意識を高めていただくため、自分と家族の命を守るための災害への備えと、災害が発生する前にとるべき行動などについて紹介しています。また、各所にご家庭で書き込んでいただくことで、『わが家の手引き』として活用していただくことができます。

ご家庭での防災力の向上にこの冊子をお役立ていただき、万が一のときは「自分たちの命は自分たちで守る」ことができるよう、日ごろから備えておきましょう。

目次

1. 家庭でできる災害への備え	2
① 非常用持出品を準備しましょう	
② 食料などの備蓄を始めましょう	
2. 水害のときにすばやく避難するために	4
① 災害情報の種類を知っておきましょう	
② 洪水ハザードマップで住んでいる地域を確認しましょう	
③ 避難先を検討しておきましょう	
④ 「マイ・タイムライン」で避難開始に備えましょう	
3. 情報の入手方法について	9
① テレビから	
② スマートフォンから	
③ インターネットから	
④ 防災行政無線から	
各地区の洪水ハザードマップ	13
4. 地震への心構えについて	16
① もし地震が発生したら	
② 地震に備えましょう	
5. 町が準備する避難先	18

 のところは各家庭に必要なことを書き込みましょう。

資料提供・協力
国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所
NHK山形放送局
ヤフー株式会社

- ★このガイドブックでは、スマートフォンを活用した災害に関する情報入手をお勧めしています。
- ★スマートフォンの使い方が不慣れな方へは、ご家族でアプリのダウンロードや設定のお手伝いをお願いします。

1 家庭でできる災害への備え

① 非常用持出品を準備しましょう

東日本大震災のような大規模災害では、行政、流通、交通、通信などがマヒすることで、発生直後には食料や生活必需品が不足します。

そのため国では、各家庭において災害時に必要となる身の回りのものをあらかじめ準備しておくことや、水道や電気などのライフラインが使えなくなったときに備えて、食料や日用雑貨品などを**最低3日以上**備蓄することを、国民にお願いしています。

いつ起きるか分からない災害に備え、日ごろから非常用持出袋や備蓄品を整えておき、災害が起きたときはいつでも使えるようにしておきましょう。

○非常用持出品

■非常用持出袋に入れるもの

防災ラジオ、救急セット、携帯電話・スマートフォン(充電器も)、懐中電灯、貴重品(現金、通帳、印鑑、健康保険証など)、筆記用具、マスク など

■あると便利なもの

タオル、石けん、ティッシュ、アルコール入りウェットティッシュ、軍手、使い捨て手袋、ヘルメット、大きめのゴミ袋、缶切り、体温計、カイロ、予備のメガネ、雨衣、下着、生理用品 など

■家族構成によって必要なもの

常備薬、お薬手帳、紙おむつ、ミルク、母子手帳、コンタクトレンズの洗浄キット、入れ歯洗浄剤 など

■できる限り避難するときに持って行くもの

買い置きしていた食料・飲料水、着替え、毛布などの寝具、歯磨きセット など



その他わが家に入れるものを書き込みましょう 

★ここでいう『買い置きしていた食料・飲料水』とは、備蓄用の食料品・飲料水だけではなく、「近日に食べよう(飲もう)」と思って買っていたパン、お菓子、カップ麺、バナナやみかん、ペットボトルや紙パックの飲み物などの、『買い置きして家にあるもの』をイメージしてください。

★バナナやみかん以外の生ものは、食中毒の恐れがあるので持ち出しには適しません。

② 食料などの備蓄を始めましょう

大規模な災害では、食料や普段使用している日用雑貨品の入手が困難になります。そこで、普段の生活で食べている長期保存が可能な食料を多めに買い置きし、日々の生活で古い順から使い、食べたなら新しいものを補充する「ローリングストック（循環備蓄）」を始めましょう。

食料のほか、ティッシュやマスクなどの日用雑貨品や衛生用品なども同じようにローリングストックを行うことで、**むだなく、負担を感じることなく**日ごろから災害に備えることができます。



ローリングストックに適した食料や日用雑貨品などの例

その他わが家で備蓄するものを書き足しましょう 

○食料・飲料水

レトルト食品

(ごはん、おかゆ、カレーなど)

カップ麺、インスタント味噌汁

缶詰め

乾麺とめんつゆ

パスタとパスタソース

お菓子

ペットボトル飲料水

(お茶、ジュース、水)

紙パックジュース

粉（液体）ミルク



○日用雑貨品

ティッシュ

ウエットティッシュ

トイレットペーパー

マスク

歯ブラシ

紙おむつ

生理用品

ゴミ袋

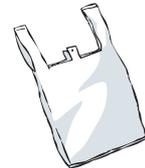
使い捨て手袋

タオル

割りばし・紙皿・紙コップ

ラップ

乾電池



★ローリングストックを習慣にすることで、高価な災害時用の非常食を用意する必要がなくなるとともに、日常生活で「今日は買い物に出るのが面倒だな」というときなどに備蓄した食料の中で食事の準備ができるなどのメリットがあります。(消費した分は早めに補充しましょう。)

★買い置きしたものは、賞味期限が近い順から消費します。

★日常的に使うものを余裕をもって手元に置いておくことで、メーカーの被災により生産がストップし商品が品薄になったときでも、あわてる必要がなくなります。

★必要なものがイメージしにくい場合は、「泊りでキャンプに行く」ことをイメージして必要なものを書き足してみましょう。(例 キャンプ⇒カレー⇒スプーン⇒使い捨てのプラスチックスプーン など)

風水害対策

2 水害のときにすばやく避難するために

① 災害情報の種類を知っておきましょう

水害のうち河川のはん濫によるものは、降雨量や川の水位情報などから予測ができる「進行型災害」です。そのため町では、国や県からの情報を元に災害が発生する前に避難情報を発令することとしています。町から警戒レベル3 高齢者等避難または警戒レベル4 避難指示が発令されたときは、**速やかに避難**を開始してください。

警戒レベル5	すでに災害が発生している、またはその可能性が高い状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保 (市町村が発表)
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。指定避難所、一時避難場所などまでの移動が危険と思われるときは、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 わが家の避難先⇒6ページ	避難指示 (市町村が発表) ★避難勧告はなくなりました
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する方（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者 は避難をしましょう。 その他の方は、避難の準備を整えましょう。 わが家の避難先⇒6ページ	高齢者等避難 (市町村が発表)
警戒レベル2	テレビなどで大雨に関する情報を確認しましょう。 情報の入手方法⇒9～12ページ	洪水注意報 (気象庁が発表)
警戒レベル1	マイ・タイムラインを確認しましょう。 マイ・タイムライン⇒7・8ページ	早期注意情報 (気象庁が発表)

平成31年3月に配布した三川町洪水ハザードマップは、以前の避難情報となっています。「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」は「警戒レベル3 高齢者等避難」に、「警戒レベル4 避難勧告・避難指示（緊急）」は「警戒レベル4 避難指示」に、「警戒レベル5 災害発生情報」は「警戒レベル5 緊急安全確保」にそれぞれ読み替えてお使いください。

② 洪水ハザードマップで住んでいる地域を確認しましょう

三川町洪水ハザードマップは、赤川、大山川、青竜寺川、京田川、藤島川のすべてが想定される最大規模ではん濫した場合に浸水する区域及び浸水の深さを1枚の図で表しています。

したがって、例えば大山川だけがはん濫したときにどの範囲で浸水するかは読み取ることができません。

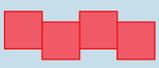
そのため、13ページから15ページでは「各地区別洪水ハザードマップ」とあわせて「河川別の浸水が想定される町内会」の表を記載してありますので、ご自身が住んでいる町内会がどの川がはん濫したら浸水するのか確認しましょう。

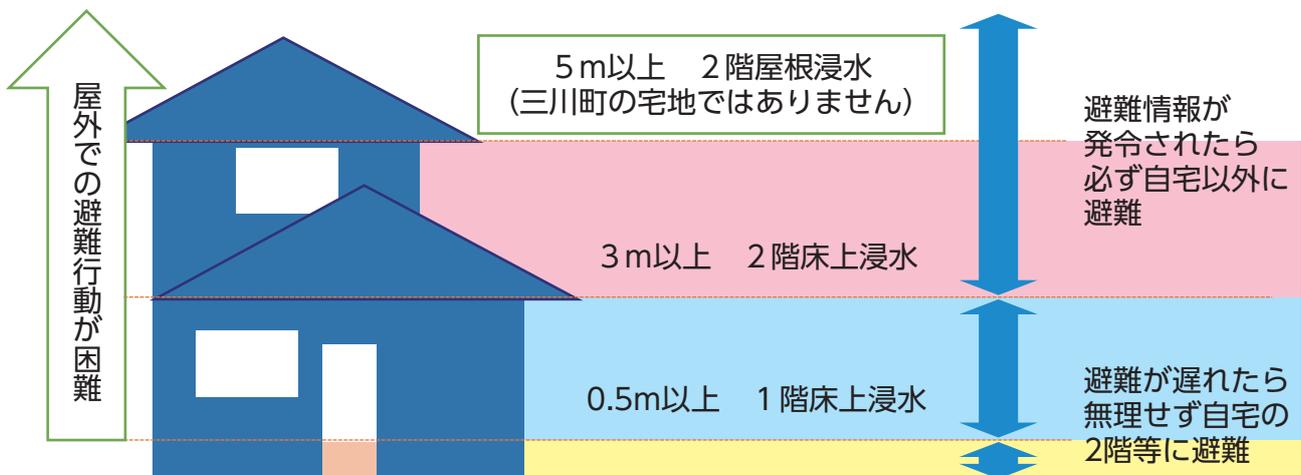
★避難とは、読んで字のとおり「難」を「避けること」です。したがって、難がないときはそれを避ける（避難する）必要はありません。

★水害の大きな特徴として、時間を追うごとに被害が発生する区域が拡大します。そのため、お住まいとは別の地域で避難情報が発令されたら、「次は自身の地域かも」という意識をお持ちいただき、避難情報が発令されたらすぐに避難できるよう準備をしておきましょう。

○洪水ハザードマップで確認

13ページから15ページでご自身が住んでいる場所がどれ位の浸水深になるか確認しましょう。

地図の色	想定される浸水深	想定される状態
白 色	な し	浸水なし
黄 色	0.5m未満	床下浸水
青 色	0.5m以上 3m未満	1階床上浸水
桃 色	3m以上 5m未満	2階床上浸水（2階の屋根までは浸水しない）
	地図の色のとおり	堤防が決壊した場合には勢いよく水が流れるため 近くの建物が倒壊（流される）恐れあり



わが家は洪水ハザードマップでは 色の場所にあります。

③避難先を検討しておきましょう

「避難」というと真っ先に思い浮かぶのが、町が指定避難所として開設する各小学校かと思えます。しかし、大規模災害で大勢の被災者が避難所に避難した場合には、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染症防止の観点などにより、避難者全員を収容できない可能性が考えられます。

このことから、避難先を検討するにあたっては、次の図を参考にして指定避難所以外への避難についてもご家族で話し合っておきましょう。

○避難先の検討方法(洪水ハザードマップの自宅の色)

白色の地域	黄色の地域	青色の地域	桃色の地域 または■■■■の近く
避難する必要はありません	必ず避難 ■■■■の近くでなければ自宅2階への避難も選択肢にできます		自宅以外へ必ず避難

どこに避難するか
決めておきましょう

避難先の候補	自宅の2階	浸水しない地域の親戚などのお宅	町の指定避難所	浸水しない場所での車中避難	
				指定避難所の駐車場	一時避難場所
良い点	<ul style="list-style-type: none"> 移動に伴う危険が少ない 避難完了(2階に上がる)に時間がかからない 	<ul style="list-style-type: none"> 日常に近い環境で過ごすことができる 車で避難すれば車を守れる 	<ul style="list-style-type: none"> 救援物資や情報が優先的に入手できる 住民同士の協力が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> プライベートな空間が確保できる 備蓄品などを携行できる 水没しない場所での避難なので車を守ることができる カーナビやラジオなどからも情報収集できる 	
悪い点	<ul style="list-style-type: none"> 浸水が解消するまで移動が困難 トイレや停電が心配 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に相手先が浸水しない地域か確認が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 収容人数に限りがある 衛生環境の維持が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動が遅れると極めて危険 一時避難場所では食料や情報は自身で確保しなければならない 	

わが家の避難先は

第1候補

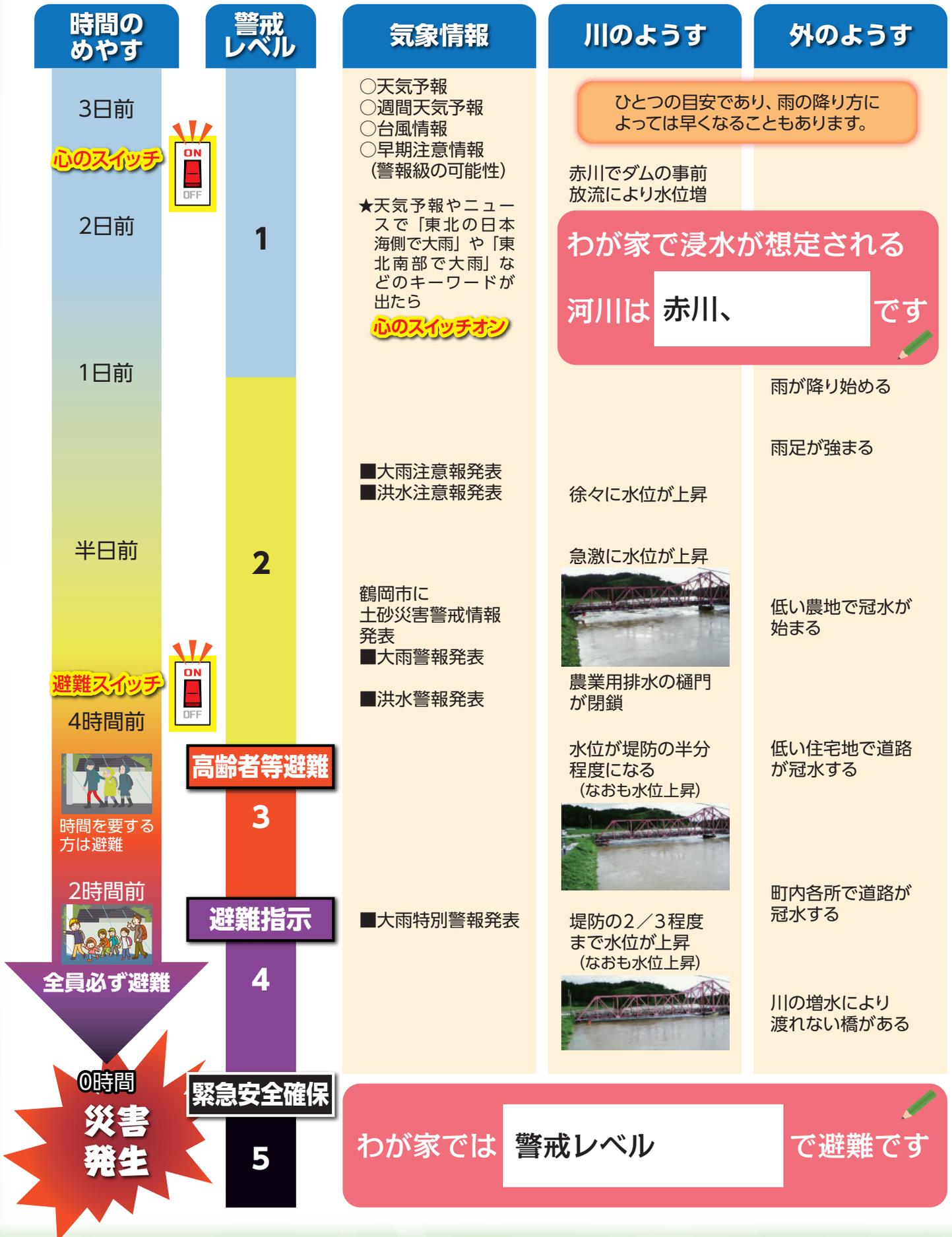
第2候補

です。

④「マイ・タイムライン」で避難開始に備えましょう

町では、避難情報を防災行政無線や緊急速報メール、テレビやラジオなどでお知らせしますが、**避難情報が発令されてから避難の準備をしていては逃げ遅れてしまう可能性があります。**そのため、避難情報が発令される前から準備を整え、いざ避難情報が発令されたらすぐに避難できるよう、「マイ・タイムライン(命を守る避難行動計画)」を家族みんなを確認しましょう。

命を守る避難行動計画 (マイ・タイムライン)



には各家庭で必要なことを書き足しましょう。

情報の入手

テレビのニュース・気象情報
やスマホから
▶NHKのdボタン⇒9ページ



スマホの防災アプリ
▶Yahoo!防災速報アプリ
⇒10ページ



臨時ニュースをやっていたら
テレビは点けばなしに！
▶NHKの臨時ニュース



町が発令する避難情報や避難
所などの情報は、次の方法で
お知らせします

- ▶防災行政無線
☎0235-68-0120
- ▶緊急速報メール
- ▶テレビ、ラジオ
- ▶スマホの防災アプリ
- ▶町ホームページ
- ▶町LINE

情報の入手が困難な方へは、
町内会や隣近所の皆さんから
支援をよろしくお願ひします。

自身や家族の行動

マイ・タイムラインを確認

- 家族で避難先を確認します
⇒6ページ
- 家族でお互いの予定を確認します
- 気象予報を確認します
- 家の周りを点検します
(飛ばされそうな物の固定など)
- 非常用持出袋の点検と、備蓄品の
確認、買い足しをします
⇒2・3ページ
- 避難で使う車に給油します
- 親戚宅などに避難する計画のときは
相手先の都合を確認します



メモ

避難の準備を始める

- 最新の気象情報を確認します
- 車で避難のときは必要なものを積み込みます
- 家族と避難のタイミングを確認します
- 携帯電話は忘れずに充電します
(常に手元に置いておきましょう)
- 避難しやすい服装に着替えます



メモ

避難完了に必要な
時間は 分

避難情報が出たらすぐに避難！

『警戒レベル3 高齢者等避難』で高齢者や
体の不自由な方、小さなお子さんがある
家庭では避難を開始します

『警戒レベル4 避難指示』で全員避難を
開始します

- 隣近所へ声を掛け合ひましょう
- 『警戒レベル4 避難指示』発令から
1時間以内に避難を完了させましょう



メモ

命を守る最善の行動をとる

- すでに災害が発生している、またはその可能性が高いとても危険な状況です
- 無理な移動はかえって危険ですので避けてください
- できるだけ近くの高いところへ移動してください

〜〜この段階になる前に避難することが大切です！〜〜



3 情報の入手方法について

マイ・タイムラインを活用できるようにするには、避難情報が発令される前に「これから水害が発生するかもしれない」という情報を確実に入手することが大切です。

そこで、ここからは町から避難情報が発令されるまでどのようにして情報を入手したらよいかについて紹介します。

①テレビから～いちばん身近で手軽な方法～

台風の接近や大雨の可能性がある場合には、数日前からテレビで注意を促してくれます。このような情報を目にしたら、意識してテレビのニュースや気象情報を見るようにしましょう。

また、雨が降りはじめ、その後災害の危険性が高まり大雨警報や洪水警報が発表されると、ニュース速報や臨時ニュースで河川の水位や各市町村が発令する避難情報、開設する避難所など、最新の情報が提供されます。「雨が強くなってきて心配」と感じたらテレビをこまめに確認しましょう。

NHKデータ放送の使い方

★NHK地上放送1チャンネルのデータ放送（**d**ボタン）では、常にニュースや気象情報、災害に関する情報を見ることができます。日ごろからデータ放送を活用し、どのような情報が入手できるか確認しておきましょう。

①リモコンの **d** ボタンを押します

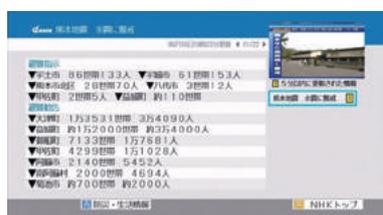


② **d** ボタンを押すと表示される画面
リモコンの青・赤・緑のボタンを押すか、矢印で選択して「決定」ボタンを押すと見たい画面に移動します



青のボタンを押すとニュースの画面になります

赤のボタンを押すと気象情報の画面になります



気象警報が発表されるなど、災害の危険性が高まると②の画面の『防災・生活情報』が赤く表示されます。矢印で選択し「決定」ボタンを押すと、山形県内の最新の情報が表示されます。ここでは、発令された避難情報や開設している各市町村の避難所についても確認することができます。

②スマートフォンから～場所を選ばず最新の情報が入手できます～

○無料の防災アプリ

以下で紹介する無料の防災アプリをあらかじめダウンロードしておくことで、気象情報や水害のほか、地震、津波といった災害全般に関する情報を簡単に入手することができます。

また、すでにLINEをお使いの方は、三川町を友だちに追加しておくことで日ごろから町が発信する情報も直接受け取ることができます。



ひとりひとりに合った情報をお届け
Yahoo! 防災速報

三川町では、ヤフー株式会社と災害時の情報発信などに関する協定を締結しています。



NHKニュース・防災
ニュース・災害情報をいち早く

災害情報のほか、全国のニュースや天気予報などをいつでもどこでも確認できます。



行政情報・イベント情報など続々配信!
LINE公式アカウント



友だち追加用
QRコード

友だち追加
をお願いします



三川町ではLINEで定期的に行政情報やイベント情報などを配信しています。

災害に関する情報なども随時提供することとしていますので、ぜひ「友だち追加」をお願いします。

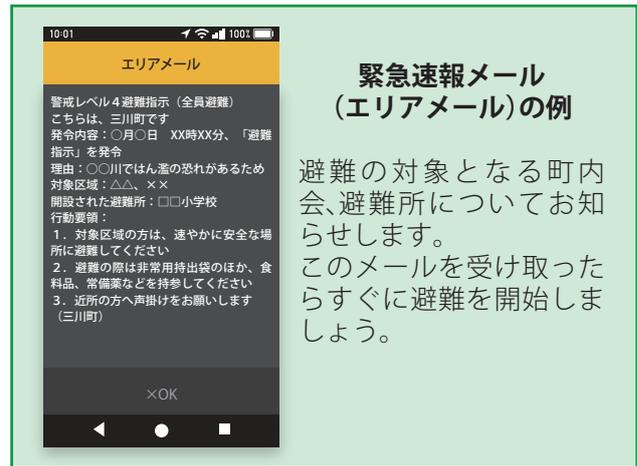
QRコードを読み取るか、ID (@mikawa-town) で検索してください。

①緊急速報メール

町が避難情報を発令したときに、緊急速報メールが送信されます。(緊急速報メールサービスを提供している会社のみ。)

緊急速報メールは避難開始を知らせるものであり、これを待ってから避難の準備をしては間に合わない可能性があります。

テレビやスマートフォンのアプリを活用し、緊急速報メールを受信する前から情報の入手に努めましょう。



緊急速報メール (エリアメール)の例

避難の対象となる町内会、避難所についてお知らせします。
このメールを受け取ったらすぐに避難を開始しましょう。

③インターネットから～より詳しい情報入手したい方へ～

国、県などでは、災害時はもちろん、平時から防災に役立つ様々な情報を提供しています。日ごろからこれらのサイトを確認いただき、いざという時に活用できるようにしておきましょう。

山形県 河川・砂防情報

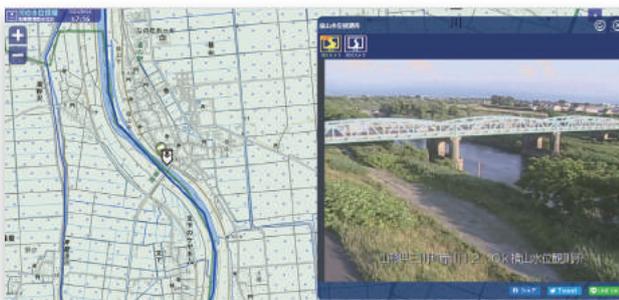


①山形県河川・砂防情報

山形県が提供する情報で、県内の河川水位、降水量、ダムの放流量が瞬時に確認できます。河川水位は分かりやすいイラストで水位が表示されます。

また、洪水予報や気象注意報・警報もこのサイトで確認することができ、スマホ専用サイトも用意されていることから、大雨のときに一番最初に確認するサイトとしておすすめです。

川の水位情報 (危機管理型水位計)



①川の水位情報

河川情報センターが提供する情報で、山形県河川・砂防情報が提供する情報のほか、危機管理型水位計(簡易な水位計)の情報や、国・県が設置した河川監視カメラの画像を確認できます。

三川町では青竜寺川の青山橋、藤島川の宮東橋に危機管理型水位計が設置されており、堤防の天端からの水位が確認できます。

このサイトは全国の河川を対象にしていますので、離れて暮らすご家族や遠方の親戚の方などに避難を促すときにも活用できます。



○ハザードマップポータル

国土交通省が提供する情報で、全国のハザードマップを重ねたサイトです。

三川町では洪水ハザードマップだけですが、津波や土砂災害などの恐れのある市町村の各ハザードマップも確認することができます。

※ご覧になりたい市町村の公式ホームページでもハザードマップを確認されることをおすすめします。



○気象庁

天気予報、災害気象情報、地震情報等が確認できる気象庁の公式サイトです。

災害気象情報では雨雲の動きや今後の警報の可能性、洪水危険度分布など、より詳細な災害に関する情報がご覧になれます。

また、これまでの気象、災害に関する情報や災害から身を守るための情報も掲載されており、災害についてより深く学びたい方にもおすすめです。

- ★テレビやスマートフォンなどからの情報収集は、地震のときにも有効です。
- ★停電のときは車のカーナビテレビ、ラジオを活用して情報を収集しましょう。
- ★車にスマートフォン、携帯電話の充電器を用意しておきましょう。

④防災行政無線から～避難情報をお知らせします～

町が「レベル4 避難指示」などの避難情報を発令するときは、サイレンを鳴らし町内一斉放送でお知らせします。

防災行政無線は身近な情報伝達手段ですが、避難情報を伝える手段のひとつにすぎません。マイ・タイムラインにもあるように、避難情報が発令されたらすぐに避難できるようにするためには、**防災行政無線だけを頼りにするのではなく、避難情報が発令される前からテレビやスマートフォンなどを活用して積極的に情報を入手していただくことが何よりも重要となります。**

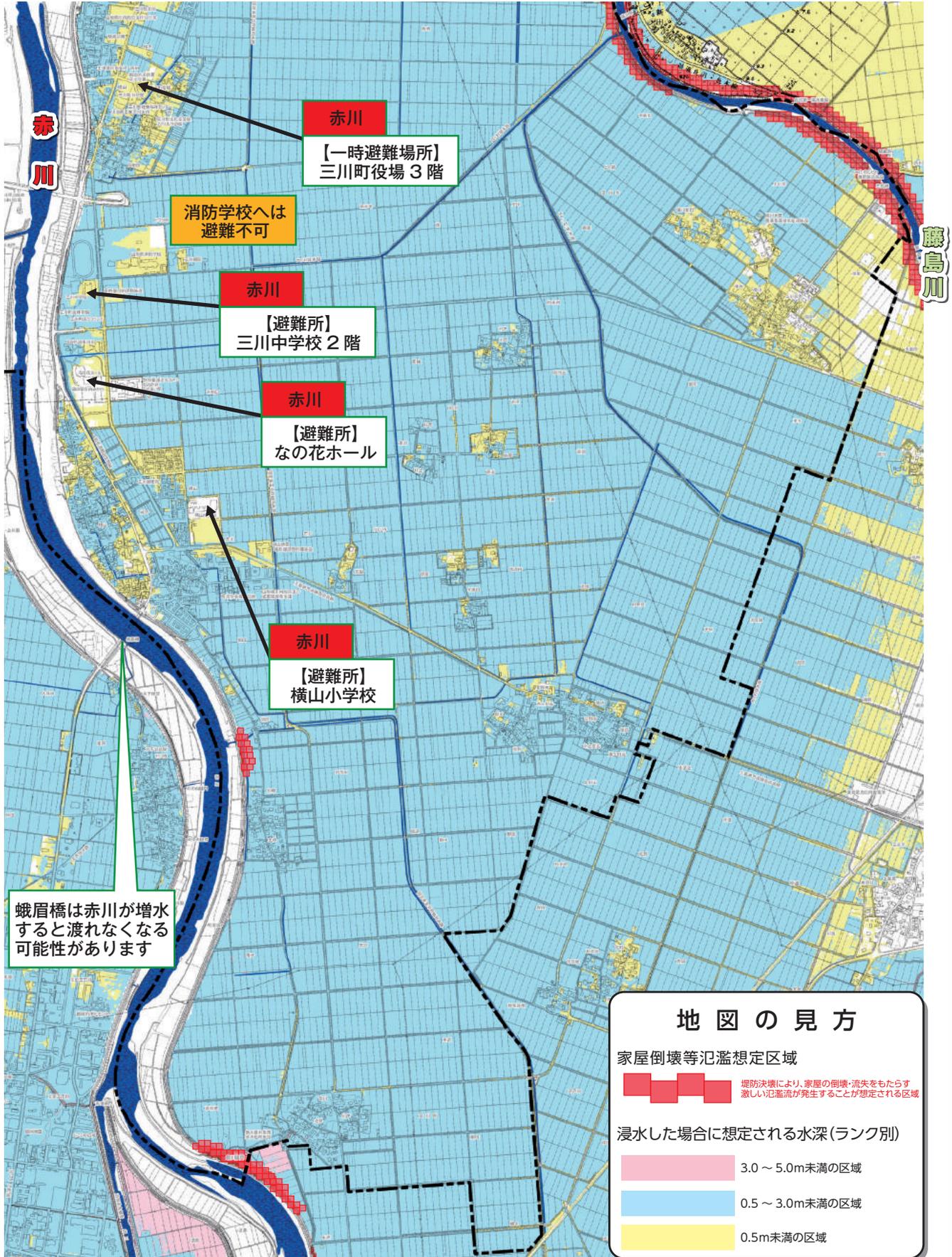
この冊子で紹介したテレビ、スマートフォンなどを活用していただき、情報が「来る」のを待つのではなく、自分で「取る」ことを心掛けましょう。

防災行政無線が聞き取りにくかった場合は ☎0235-68-0120 で確認できます。

避難所や一時(いっとき)避難場所の開設情報は、

横山地区の 洪水ハザードマップ

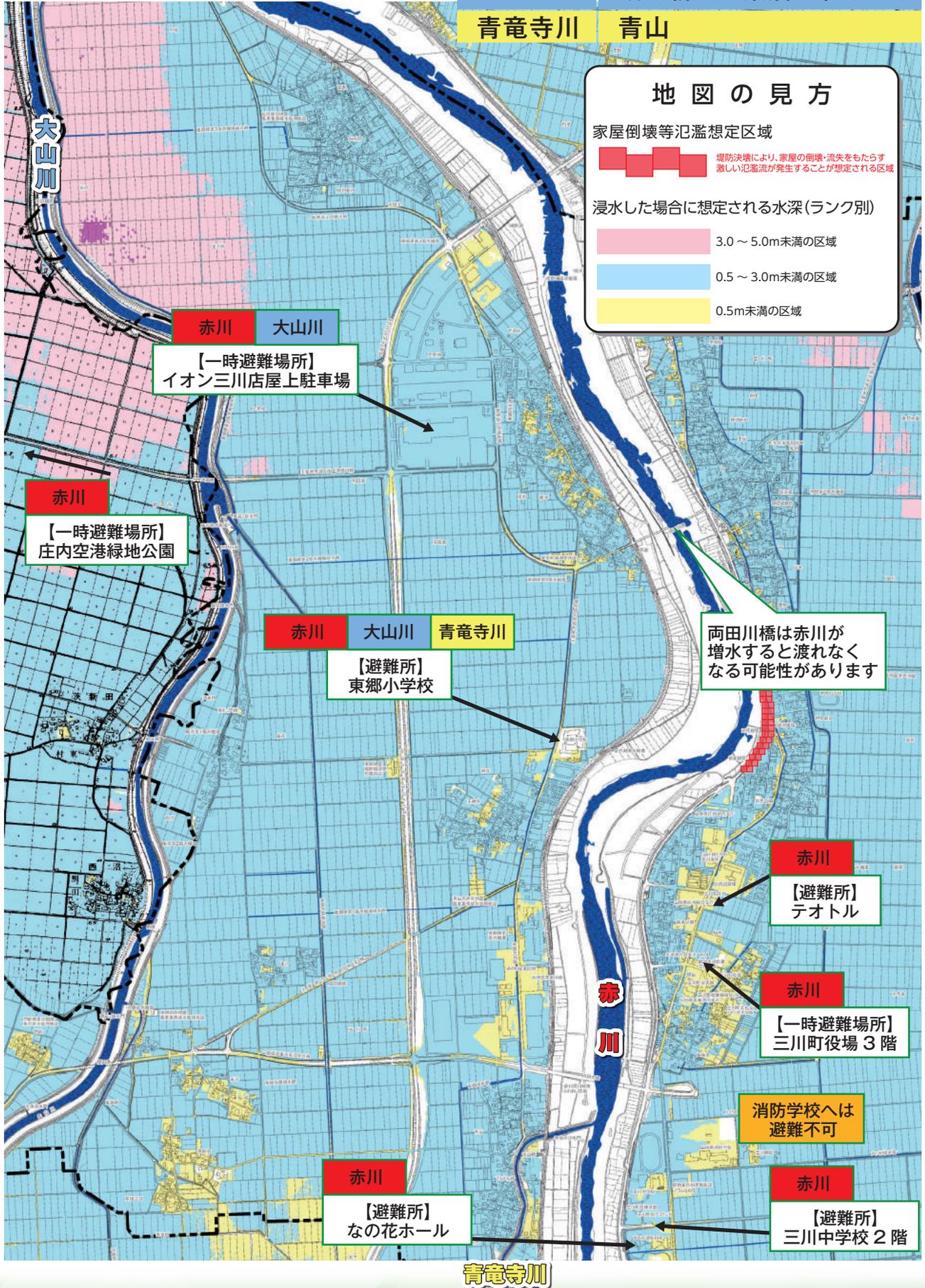
河川別の浸水が想定される町内会	
赤川	横山地区全町内会
藤島川	なし



P9からの「3 情報の入手方法について」でご確認ください。

東郷地区の 洪水ハザードマップ

河川別の浸水が想定される町内会	
赤川	東郷地区全町内会
大山川	尾花、猪子（西側）、成田新田、東沼、すみよし
青竜寺川	青山



地図の見方

家屋倒壊等氾濫想定区域
 堤防決壊により、家屋の倒壊・流失をもたらす激しい氾濫流が発生することが想定される区域

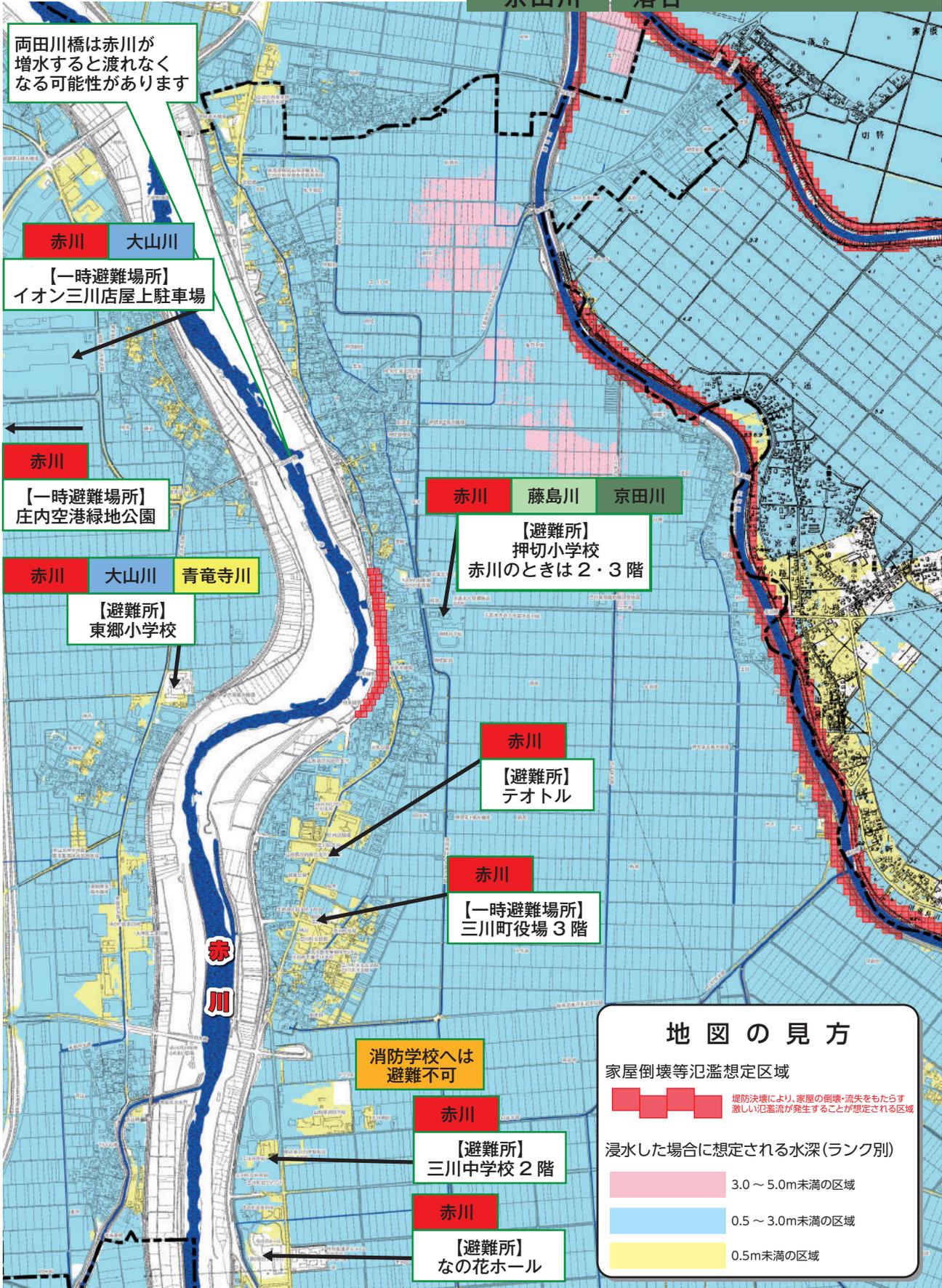
浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

避難所や一時(いつとき)避難場所の開設情報は、
P9からの「3 情報の入手方法について」でご確認ください。

押切地区の 洪水ハザードマップ

河川別の浸水が想定される町内会	
赤川	押切地区全町内会
藤島川	押切中町(瀧)、落合、土口
京田川	落合



京田川

藤島川

地図の見方

家屋倒壊等氾濫想定区域
堤防決壊により、家屋の倒壊・流失をもたらす激しい氾濫流が発生することが想定される区域

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

地震対策

4 地震への心構えについて

①もし地震が発生したら

地震発生 最初の大きな揺れは約1分

地震が発生したら、ただちに**自身の身を守る行動**（右図の訓練を参照）をしましょう。屋外では建物やブロック塀のそばから離れましょう。

揺れがおさまったら

スリッパを履いて火の確認をします。コンロやストーブから出火していないかを確認し、ガスの元栓は確実に閉めましょう。

もし、火災が発生したら落ち着いて初期消火と近所の方に火事を知らせます。

※初期消火の限界は炎が天井に届くまで

家族の無事を確認できたら

余震に注意しつつ、隣近所に声をかけてお互いけがなどがいないかを確認します。

テレビやラジオ、スマートフォンで情報収集を行います。停電のときは、車のカーナビやラジオを活用します。⇒9・10 ページ

自宅から避難するとき

自宅が損傷し危険なときは、非常用持出袋、持ち出せる範囲で食料や備蓄品を持って避難します。⇒2・3 ページ

避難するときは停電していてもブレーカーは必ず切りましょう。

シェイクアウト訓練 身を守るための基本動作



身を守るための基本動作である「シェイクアウト訓練」を家族で実践しましょう。



揺れがおさまったら次に火の始末を！



裸足は危険！



地震の影響で断線した配線がショートし火災になる「通電火災」を防ぐため、避難時はブレーカーを切ります。



隣近所で声を掛けあって！

②地震に備えましょう

地震は、突然やってくる「突発型災害」です。そして、地震により死傷するケースのほとんどが、建物の倒壊や家具、ブロック塀などの下敷きになった場合と、地震により発生した火災によるものです。

これらから命を守るための備えを、できることから始めましょう。

○住まいの耐震化、難燃化を進めましょう

昭和 56 年以前に着工された建物は、古い耐震基準により建てられていることから、その約 8 割が「倒壊する可能性がある」とされています。また、古い建物の多くは燃えやすい造りになっており、阪神淡路大震災では倒壊した建物に閉じ込められ、



その後の火災で亡くなった方が多数いらっしゃいました。

町では、住宅の耐震化やリフォーム等の費用を補助する制度がありますので、それらを活用していただくことを検討し、安全な住まいにしましょう。

○古いブロック塀は改修しましょう

地震によりブロック塀が倒れると、近くにいた方が下敷きになる恐れがあるほか、道路をふさぐことで消防車などの緊急車両の通行の妨げになり、地震による被害を拡大させてしまう要因になります。

ひびが入っている、鉄筋が入っていない、鉄筋が錆びている、控え壁がないなどの古いブロック塀は地震により倒れてしまう可能性があります。古いブロック塀があるお宅では専門業者に相談していただき、撤去や改修などを検討しましょう。

なお、町では危険と認められるブロック塀の撤去費用を補助する制度がありますので活用をご検討ください。



★住宅の耐震化、リフォーム、ブロック塀の撤去などに関する補助制度については、**建設環境課**にご相談ください。☎0235-35-7035

○家具などは固定しましょう

大きい家具には転倒防止器具を取り付けましょう。転倒防止器具には、金具式、ポール式、ストッパー式などがあります。テレビは粘着マットやベルトで固定することも有効です。



★早朝に発生した阪神淡路大震災では、就寝中に倒れた家具の下敷きになり、避難ができずに死傷された方が多数いました。ホームセンターには様々な種類の転倒防止器具がありますので、ご自宅にあった器具を設置しましょう。

★固定しても、建物自体が地震で損傷すると家具が倒れる可能性があります。できるだけ寝室や部屋の出入り口付近には大きい家具は置かないようにしましょう。

5 町が準備する避難先

○指定避難所一覧

No	施設名	所在地	電話番号	地震時	洪水時
1	三川中学校	横山字堤105	66-3117	○	○※1
2	横山小学校	横山字大正140	66-2214	◎	◎
3	東郷小学校	神花字六瀬297-1	66-4111	◎	◎
4	押切小学校	押切新田字高前1	66-2421	◎	◎※2
5	町民体育館	横山字堤105-5	66-4485	○	×
6	アスレなの花	横山字堤215	66-5210	○	×
7	三川町社会福祉センター	横山字西田85-2	66-4410	○	×
8	みかわ保育園・幼稚園	押切新田字豊秋100	66-5400	○	×
9	なの花ホール	横山字堤172-1	66-4863	○	○
10	子育て交流施設テオトル	押切新田字桜木8-1	64-8310	○	○

※1 洪水時は2階のみ使用可能 ※2 洪水時は2階及び3階のみ使用可能

◎は優先的に開設する避難所です。

○は避難対象者の数に応じて開設する避難所です。

×は浸水区域内の施設のため、原則として洪水時は開設しません。

○一時(いつき)避難場所一覧

No	施設名	所在地	地震時	洪水時
1	イオン三川店屋上駐車場	猪子字和田庫128-1	×	○
2	庄内空港緑地公園	酒田市浜中字村東ほか	×	○
3	三川町役場3階講堂	横山字西田85	×	○

一時避難場所は、避難が必要となる方が大勢となるときにのみ開設します。

No1は大山川及び赤川、No2は赤川に関する避難情報を発令する前に町から各施設へ場所の提供を要請し、施設側から了解を得たのちに町民のみなさまへお知らせすることとなっていますので、避難情報が発令される前にこれらの施設へ避難することはできません。

「指定避難所」と「一時避難場所」とのちがいについて

○指定避難所

浸水を避けるために避難する場所で、浸水が解消した後は倒壊などにより自宅での生活が困難な方が生活する場となります。

○一時避難場所

浸水を避けるために一時的に避難する場所で、浸水が解消したら自宅（倒壊などにより自宅での生活が困難な方は避難所）へ移動していただきます。

発行 三川町総務課危機管理係
三川町大字横山字西田85
電話 0235-35-7010

令和3年10月

わが家の防災メモ

火事・救急 **119番**

警察 **110番**

災害用
伝言ダイヤル **171番**

緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
三川町役場	0235-66-3111	鶴岡市上下水道部	0235-23-7731
鶴岡警察署	0235-28-0110	東北電力コールセンター	0120-175-366
鶴岡警察署 三川駐在所	0235-66-2210	庄内中部ガス(株)	0235-66-3115
鶴岡市消防署 三川分署	0235-66-3021		

勤務先・親せきなどの連絡先

連絡先	電話番号	住所	メモ

かかりつけ医の連絡先

医療機関名	電話番号	住所	メモ

家族の携帯電話番号 (万が一に備えて控えておきましょう。)

名前	電話番号	メモ